#### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号 1270300807				
法人名	株式会社 ニチハイ			
事業所名	グループホーム サロンドグリーン長沼原			
所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町	161-1		
自己評価作成日	令和2年11月27日	評価結果市町村受理日		

#### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <u>http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</u>

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名 株式会社 日本ビジネスシステム			
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和2年12月23日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

畑の広がる環境の中、600坪の敷地に平屋で建てられたサロンドグリーン長沼原は、芝生が敷かれた広い庭と駐車場があり、開放的な施設となっています。ウッドデッキから庭や畑などへ自由に出入りができ、外の空気を気軽に感じられるような造りになっており、家族、保育園児、ボランティアさんの来訪がわかりやすく様々な人との触れ合いを楽しめるようになっています。施設内は、全面バリアフリーとなっており十分な介護スペースが確保され、安全に配慮した造りとなっています。入居者様が明るく楽しく安心して生活が送れるように、職員は笑顔を絶やさずに心に寄り添うケアを重点に置き、家庭的でホッと安らげるサービス提供に努めています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム サロンドグリーン長沼原」は、広い敷地を有しており、施設内はバリアフリーで、十分な介助スペースが確保された施設である。庭やベランダは、自由に出入りする事が可能となっており、散歩・お茶のみ・ひなたぼっこ・布団干し・庭の手入れ等、入居者にとって居心地が良く、心身の活力を引き出すことが出来る場所となっている。日頃から地域との繋がりを大切にしているが、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、地域との交流行事は行なわれていないが、敬老の日に保育園の園児よりプレゼントと手紙が届く等、地域の人達との触れ合いは継続的に行なわれている。定期的に職員会議を実施し、事例検討・入居者に関する意見交換及び情報交換を行うと共に、内部研修や外部研修の報告等も行っており、現場の状況把握やサービスの質向上に取り組んでいる。

٧.	. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該当	取り組みの成果 当するものに〇印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<ul><li>○ 1. 毎日ある</li><li>2. 数日に1回程度ある</li><li>3. たまにある</li><li>4. ほとんどない</li></ul>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が O 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が O 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 〇 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が O 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟か支援により、安心して暮らせている	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが					

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

(参考項目:28)

62 な支援により、安心して暮らせている

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I .3	理念し	こ基づく運営			
1		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	し合い支援につなげている。		
2	\_/	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	や個人ボランティア、中学校職場体験の受け入れを行う等、出来る限り地域との関係に努めてきた(今年度はコロナ感染症予防対策のため行政の通達により面会制限のある期間、地域との交流となる行事は控えている:こども110番の登録は継続)ただ、敬老の日近く、保育園の園児さん達より可愛いらしい飾り物とお手紙を頂き、お返事としてホームからは入居者様お手製の雑巾とお礼のお手紙を送らせて頂く機会があった。	日頃から自治会や地域行事等を通じて、積極的に交流し、地域との繋がりを大切にしている。また、地域の中学校の職場体験・ボランティアの受け入れ・保育園児との交流等、世代間交流に取り組んでおり、入居者の楽しみや生活活性化に繋げている。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、地域との交流は中止しているが、敬老の日に保育園の園児よりプレゼントと手紙が届く等、地域の人達との触れ合う機会を継続的に設けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	支援の方向性や認知症についてなど、職員会議で報告、研修したことを運営推進会議を通じて伝えている(令和2年3月よりコロナ感染症予防対策として、書面開催としている)。		
4		〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	運営推進会議で出された意見などについて、主任会議で伝え話し合っていたが、令和2年3月よりコロナ感染症予防対策により意見を聴取をする話し合いの場を設ける事が出来なかったためサービスの評価が行えていない。	運営推進会議は、2か月に1回開催しており、地域包括支援センター職員・民生委員等が出席している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行っており、施設の理解促進及びサービスの質の向上に繋げている。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、会議は実施せず、構成員に資料を届け、意見等を確認する形で機能を果たしている。	

自己	外	項目	自己評価	外部評価	<b>5</b>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	サービス提供にあたり、様々な内容について担当者へ随時、報告、相談をして協力を得ている。また、管理者が千葉市のGH連絡会の役員をしているので日頃より報告・相談することで交流をする場面が多い。	日頃から市に対して、業務における相談や報告を行っていると共に、運営推進会議等にて、意見・情報交換を行う等、連携を図っている。また、市のグループホーム連絡会の理事を務めており、会議を通じて、市との意見・情報交換を行う等、相互に協力する関係を構築している。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、研修や会議等は中止になっており、電話で連絡を取り合う形で連携を図っている。	
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解 しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	管理者、フロア一主任が研修を受け、入職時より身体拘束を行わないケアについて説明を行っている。また、身体拘束等の適正化に伴う指針の整備、3ヶ月に1回以上の研修の実施に従い、定期的な職員への研修の機会を設け、適正な知識の理解とケアに努めている。	身体拘束排除における指針及びマニュアルを整備すると共に、内部研修を実施し、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。また、定期的に身体拘束廃止委員会を開催しており、支援方法を検討し、身体拘束の無いケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につい て学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で の虐待が見過ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	施設全体で理解、取り組みが出来るよう管理者が研修を受け、身体拘束廃止と併せて職員へ伝えているほか、職員も研修が受けられるように配慮している。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必 要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよ う支援している	制度の必要性については、入居時の状況や本人の状態に応じて家族と話し合いを行っているほか、制度に関してご家族にあてた文章を送り、周知するとともに職員にも話をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約時には、後々のクレームにつながらないように十分に説明をするとともに解約時においても本人やご家族の意向に沿って手続きが行えるように努めている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	日頃より意見や相談がしやすい環境作りに 努めている。意見や要望を受けた際は、必	面会や電話連絡の際に、家族から意見・要望等を確認している。また、運営推進会議、家族会の開催を通して、意見・要望等を表せる機会を作っている。挙がった意見・要望等は、会議・申し送り・連絡ノートにて周知・検討の上、適切な改善を図っている。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、家族との面会は中止しており、電話連絡や手紙を通じて、家族との繋がりを継続的に支援している。	
111	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている		定期的に職員会議を開催しており、職員の意見・提案を確認する機会を設けていると共に、運営の代表が参加する会議も定期的に開催しており、意見を法人に伝える仕組みも構築されている。会議の他にも、申し送りや連絡ノートを活用し、職員間で情報が共有できるよう工夫している。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、外部で実施されている会議や研修は、中止となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	ホームの状況を常に把握できるよう、代表 者と管理者は連絡を取り合い、検討事項や 取り組みなどについて話し合いを行い、必 要に応じては職員会議などで伝えるなど日 頃より職場の環境改善に努めている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	企業理念は、代表者が職員全体へ伝えるほか、支援の質の向上をするために管理者、主任はもちろん職員も外部の研修を受けられるように配慮している。また、ホーム内においても職員会議時に研修を行っている(令和2年3月以降、コロナ禍においては入居者様の安全を最優先とし職員の外部研修の参加は控えている)		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	管理者が千葉市GH連絡会の役員をしているため、日頃より他ホームとの交流をする場面が多い。また、サービスについても随時、相互で相談することで協力を得ている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	西
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II . <del>2</del>	を心と	▲信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談をし、なるべくこれまでの生活状況を把		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	入居前に面談を行い、ご本人の生活歴や 状況を確認するとともにご家族の希望や不 安も伺い、両者が安心できる内容の支援が 提供できるように協力を得ている。また、こ の段階でホームとして出来ること、出来ない ことを伝え理解をいただいた上で話し合い をしていけるように対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の状況に応じて『何を一番 必要としているか』を見極め、必要に応じた 他サービス利用を含めた総合的な対応に 努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の関わりを通じて、ご本人の気持ちに 寄り添いながら安心して生活が送れるよう に、お互いに支えあう関係作りを大切にし た支援を心がけている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人 を支えていく関係を築いている	入居者様が『日々安心して安全に穏やかに 生活を送りながら、役割や生きがいを持っ て、よりその人らしさが保てるよう』支援させ ていただくためには、ご家族の協力が不可 欠になるので随時、日頃の様子を伝え一緒 に考えて支援を行っている。ただ現在は、コ コナ感染症予防対策として面会制限に協子 を目にする事が出来ていない。支援される 一方の立場とならないようご本人との画 通信も検討したが実施に至らない。生活真 を毎月のお便りと一緒に届け、ご本人とご 家族との大切な絆、支援の協力関係を保て るように出来る限り努めている。		

自己	外	項 目	自己評価	外部評価	西
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	軽に外出ができる環境を大切にした支援の 継続に努めてきた。現在はコロナ感染症予 防対策のため面会制限を設けており、日々 の中で不安、寂しい思いがなるべく少なく、 大切にしてきた関係が保てるよう声かけの 工夫のほか季節の行事レク、お弁当、パン 工房のパンの提供をするなど食事レクや余 暇活動を充実させるなど代替的な支援に努 めている他、今後、新たな方法での馴染み の人、場との関係支援について模索、検討 している。	帝堂に応して、友人・和人・家族等の来訪を随時受け付けていると共に、手紙や電話のやり取りも自由となっており、馴染みの人との関係継続を支援している。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策のため、友人・知人・家族等の面会制限されており、家族との外出や外泊は見合わせている。現在、馴染み関係継続の支援対策については検討中である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう な支援に努めている	個々の状態を把握して、入居者様同士が良好な関係の上で日々の活動を一緒に行えるように職員会議で話し合うほか、日々の中でお互いに『ありがとう』が言い合えるように支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院へ移行のため退居されたご家族様より 経過連絡、相談を受け付ける事が時々あ る。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	<b>,</b>		
		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	日々の生活を共に行う中で、本音や希望を 個々に聞けるように支援しているとともに、 生活の場面から見極めを行って常に検討し ながらケアプランにつなげている。	入所前に本人及び家族から意向・生活歴・ 身体状況等を確認している。また、必要に応 じて、医師や他のサービス事業所から情報 を収集し、入居者一人ひとりに合わせた支援 に繋げている。入所後も情報把握に努めて おり、会議等で検討や確認を行い、現状に 即した支援を行っている。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	入居前に家族・ケアマネ・サービス事業者などに本人の様子を伺い、なるべくこれまでの生活スタイルから『本人らしさ』が継続できるよう支援内容を検討。入居後も常に本人の言葉や様子を確認し、必要に応じて家族に報告・相談をして支援につなげている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	<b>5</b>
己	部	块 口	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日々の様子や気づきなど個々のケース記録や日誌に記載して情報を共有、職員会議にて報告、他職員との意見交換を行い、日課表に記入。現状に則した支援になるよう努めている。		
		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している	日々の中で個々に課題のあった場合には、 ご家族に相談を行うほか、必要に応じては 他機関と話し合いを行った上で介護計画を 作成するとともに職員にも申し送り、支援を 行っている。	本人・家族の意向やニーズを把握した上で、 職員間で検討しながら介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認・評価を行うと共に、日々の様子・意向・課題をまとめた個別記録を作成し活用している。作成した介護計画や個別記録は会議や回覧等で周知する等、全職員が統一したケアの実践に向け取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	か、職員会議で報告、検討することで支援  方針を確認、変更している。		
28			個々のニーズに合わせてご家族に相談のもと、訪問マッサージを活用して、身体機能の低下予防に努めている。また個人ボランティアさんが週に1回、入居者様の話し相手、レク活動の協力を行う活動や退職者による音楽ボランティアにて唱歌、童謡などの音楽レクを毎月2回実施。(令和2年3月よりコロナ感染症予防対策により中止しているが、今後の社会情勢により再開を予定)。その他でも必要に応じたボランティアの協力を申請していく。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の中で個別に地域資源を活用して対応することは難しい。普段の対話、レク活動や誕生会などの機会に希望のあったメニューを提供できるよう努め、個々の能力に応じた選択ができるようにするなどの配慮によって支援を行っている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている	往診のDrとは、身体面のほかに生活状況を含めて報告・相談を行い医療支援の協力を得ている。また必要に応じて、ご家族・Drとホームで話し合いをした上で専門医の受診を行っている。	定期的に内科医・歯科医の往診を実施していると共に、かかりつけ医への受診も行っており、適切な受診支援を実施している。家族による受診対応時は、日々の記録や特記事項を記した書類を添える等、医師との情報共有に努めている。また、訪問看護の看護師による健康管理・服薬管理・医療面おける相談や対応等も行われており、入居者・家族・職員等の不安解消に繋げている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護 を受けられるように支援している	週に一度、入居者様の健康確認を行う他、 日々の支援で気づいた点、変化などを相談 をして、より速やかな医療的対応への検討 をして、支援に繋げられるように努めてい る。そのほかに専門医受診や入退院時にも 看護職へ相談を行い、支援につなげてい る。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている。	場合にも、ご家族と相談の上で病院への状		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業 所でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	報のもと支援を行っている。	終末期・重度化に関する施設方針を契約時に説明し、同意を得ている。必要時に家族・ 医師・看護師と話し合いを行い、意向に沿った支援に向け体制を整えている。入居者の 状態変化に合わせて、家族の意向確認を行い、入居者・家族の安心と納得を得られるよう、対応方法の共有を図っている。	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	事故の発生時に備えてマニュアルを整備して周知、対応している。応急手当等については、職員会議で研修を行い周知しているが、ホームにて実践をしていく機会は設けていない。		

自	外		自己評価	外部評価	<b>E</b>
自己	部	惧 日 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	非常災害対策のマニュアルは、職員会議を利用して、災害に応じた対策の検討をして整備、周知すると共に避難訓練時には消火器を使用した訓練も含めている。その他、地域の協力が得られるように自治会長さんと民生委員さんと話し合いを行い、協力体制がある。また、台風災害による停電に備えて自家発電機を購入、職員会議にて使用方法の周知を行っている。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報機・消火器等の消防設備を設置していると共に、年2回、消防署届け出の下避難訓練を実施している。夜間想定の訓練や通報訓練等を行っており、状況に応じた避難対策を講じている。地域住民とは、災害・水害時における協力体制が整っている。他にも、災害対策として自家発電機を購入する等、日常生活に近い環境となるよう、必要な備品を確保している。	
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアルにある通り、『常にその人らしさを尊重し、プライバシーに配慮した声かけを心がけている』ほか適時、職員会議で伝えている。また、ケース記録等ではイニシャルで記入するなどの配慮も行っている。	プライバシー保護や接遇に関する研修を定期的に実施しており、入居者一人ひとりのプライバシーと尊厳を大切にしている。また、個人情報保護についても、研修・会議を通して、周知徹底を図っている。日常生活では、一人ひとりに合わせた言葉掛けや支援に努め、その人らしい生活の実現に繋げている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	入居者様が『自分で決めて生活を送る大切さ』を理解したうえで個々の状況に応じた声かけを行うほか、言葉以外の表情やしぐさより思い・希望を確認するなど工夫して支援を行い余暇の過ごし方、自由メニューの希望食を選択するなどの支援をしている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは決まっているが、入 居者様が自分のペースでおおむね自由に 生活ができるように体調に配慮して、出来 る限り個別性のある支援に努めている。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	身だしなみは、毎日の生活の中で気をつけて支援をしているほか、散髪の希望に応じて適時、訪問理髪をお願いしている(令和2年3月以降、コロナ感染症予防対策として感染者の増減に応じ、予定を延期するなどあり)。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	毎日の食事は職員が主体となり行い、調理の好きな入居者様と盛り付けや片付けを一緒に行っている。レク日や外食時は利用者様の好みに合ったものを注文して、提供している(令和2年3月以降、コロナ感染症予防対策として外食外出は控えている)。	食事の準備から片付けまで、入居者の希望と能力を活かしながら職員と共同で行っている。食材や献立は業者を活用しているが、利用者の希望に応じた食事提供を行っている。また、定期的に外食会や行事食を提供する等、食事の楽しみを支援している。現在、新型コロナウイルス感染対策の為、外食会は中止しているが、庭を活用したランチやお茶のみ等は継続している。また、お弁当やパンエ房のパンを活用する等、食事レクの充実にも取り組んでいる。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	ている。水分は、チェック表を用いて1日10 00ml以上摂るように努めている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	ロ腔に関するトラブル等の相談を行い、助 言をもらい支援に活かしている。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべく自立排泄ができるように排泄チェック表を活用して個々の排泄パターンの把握をし、その能力に合わせた声かけや誘導にてリハパン、パットなどの使用が最小限となるよう支援を行うほか、立位が困難な方でもトイレで排泄ができるように支援を行っている。	排泄チェックリストを活用し、個々の排泄パターンを把握しており、声かけやトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。水分や食事量チェックの活用・献立の工夫・体操の実施等、適切な排泄習慣の確保に取り組んでいる。	
44		取り組んでいる	排泄、水分チェック表を活用して水分が多く 摂取できるように個々の嗜好に合わせた飲み物を提供するほか、排便のサインを見逃 さずトイレ誘導を行っている。		
45		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日、入浴ができる時間を設けているが、 入居者それぞれが個々の体調や身体機能 に応じてゆっくりと気持ちの良い入浴、シャ ワー浴となるよう3日おきの入浴支援を行 い、清潔を保つように努めている。	毎日、入浴することが可能となっているが、 入居者の希望や体調に応じて、入浴の時間 や回数を変更する等、柔軟な入浴機会の確 保に取り組んでいる。必要に応じて、清拭・ 部分浴・シャワー浴を実施し、入居者の清潔 保持に努めている。季節に合わせて、草花 や入浴剤を活用する等、入居者が楽しく入 浴できるよう工夫している。	

自	外 部	項目	自己評価	外部評価	
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	これまでの生活習慣を大切にしているため、あえて就寝時間を設けずおおむね自由に就寝ができるように支援している(フロア消灯は20時)。また、寝具や衣類の清潔のため、定期的な洗濯、リネン交換を行うほか就寝、起床時にはエアコンや湯たんぽなど個々に合わせて使用を行い、心地よく睡眠できるよう配慮も行っている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	る。また、本人の状態変化によっては往診 Drに連絡・相談をして、変更があるときはそ の理由と予想されることを含めて申し送り、 その後の経過確認を確実にできるよう支援 している。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの状態に応じた役割を持っていただくことで喜び、楽しみ、張り合いが実感しやすい生活となるように支援を行っているほか、日常の会話より行きたい場所や食べたいものの希望があった場面では外出レクに取り入れていけるようにしている(令和2年3月よりコロナ感染症予防対策として外出レクは控えている。今後、情勢に合わせて再開を検討)。		
49	` ´	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の安全を第一に考え、門扉や施設内の施錠をしているが、入居者様の気分転換等で必要と思われる時は、自由にベランダから庭へ行き、ゆっくりと過ごせる時間を設けている。	日頃から散歩・買い物・ドライブ等を実施しており、戸外に出る機会を設けていると共に、ベランダや庭に出る事は自由となっており、散歩・ベンチでの会話・畑の手入れ等、気軽に外の空気に触れらる環境が整備されている。定期的に外出会・外食会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。今年は新型コロナウイルス感染対策の為、外出や交流活動は中止しているが、散歩や敷地内での活動は継続的に実施しており、入居者の気分転換や生活の活性化に繋げている。	

自己	外		自己評価	外部評価	
	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	原則、金銭の預かりは行わず、必要な物品の購入はご家族に確認、相談の上、ホームで立て替えし、購入を行い、翌月の利用料の請求に併せて費用の請求をしている。ただし、本人の状況に応じては金額を確認の上で本人に所持してもらう場合もある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	いつでも好きな時に電話をかけることは難 しいが、希望や状況に応じては手紙や電話 ができるように支援している。また毎年、入 居者がご家族へ年賀状が出せるよう支援し ている。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く日々が過ごせるよう、きれいな環境を心がけている。また、廊下やフロアーには職員と入居者様が作った作品を季節に応じて飾っている。	施設内はバリアフリー環境及び十分な介助スペースが確保されており、安全面に配慮した造りとなっている。共有スペースには、椅子・テーブル・ソファ等が設置されており、自由にくつろげる環境作りがなされている。また、季節感を感じる飾り付けを施し、入居者と職員が楽しみを共有できるよう工夫している。	
53		工夫をしている	個々の状況を確認し、安全に配慮しながら 本人の意向を尊重して自由にくつろぐこと ができるように声かけを行い、支援をしてい る。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	本人の意向を尊重して自由にくつろぐことができるように支援するほか、気の合った方と楽しく過ごせる、居心地の良い環境となるようにテーブル、ソファーの配置などにも配慮して支援をしている。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に移動ができるように手すりが整備されて、安心の介助が受けられるようにどこの場所にも広いスペースを確保している。 また、台所では入居者様が一緒に作業がしやすいように工夫をした支援を行っているほか、トイレ、脱衣所はわかりやすいプレートの目印をしている。		